

製品名: htrA1 (3H19) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe12274**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:20-1:50
分子量	51kDa

抗原情報

遺伝子名	HTRA1 ARMD7; CARASIL; High-temperature requirement A serine peptidase 1; HtrA; HtrA serine peptidase 1; HTRA1; IGFBP5 protease; ORF480; Protease serine 11 (IGF binding); protease serine 11; PRSS11; Serine protease 11; Serine protease HTRA1;
別名	
遺伝子 ID	5654.0
SwissProt ID	Q92743
免疫原	ヒト HTRA1 の組み換えタンパク質

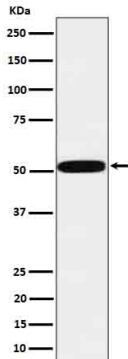
背景

IGF 結合タンパク質を切断することにより、インスリン様成長因子 (IGF) の利用可能性を制御するプロテアーゼ。TGF- β ファミリーメンバーによるシグナル伝達を抑制します。フィブロネクチンなどの細胞外マトリックスタンパク質を含む、さまざまな標的を持つセリンプロテアーゼ。HTRA1 によって生成されたフィブロネクチン断片は、滑膜細胞をさらに誘導し、MMP1 および MMP3 の産生をアップレギュレーションします。また、アグリカン、デコリン、フィブロモジュリンなどのプロテオグリカンを分解することもあります。プロテオグリカンの切断により、細胞外空間での FGF シグナルの範囲と強度を促進する可溶性 FGF-グリコサミノグリカン複合体が放出される可能性があります。IGF 結合タンパク質を切断することにより、インスリン様成長因子 (IGF) の利用可能性を制御します。TGF- β ファミリーメンバーによるシグナル伝達を阻害します。この活性には触媒部位の完全性が必要ですが、TGF- β タンパク質自体が分解されるかどうかは不明です。TGF- β シグナル伝達に作用することで、網膜血管新生や発生過程における神経細胞の生存・成熟など、多くの生理学的プロセスを制御する可能性があります。細胞内では、TSC2 を分解し、TSC2 の下流標的の活性化につながります。

研究分野

-

画像データ



MCF7 細胞溶解物中の htrA1 のウェスタン プロット分析。